

第9回 番組審議会 議事録

開催日時：2017年2月16日（木）15：30～16：30

会場：京都府舞鶴市字円満寺 158-6 西市民プラザ 2階 市民活動団体活動室

委員総数：5人 出席：3人 欠席：2人

出席委員：水嶋純作 山内茂樹 今安博和

欠席委員：松本 泰 松井恭子

局側出席者：放送局長 中西 進 制作チーフ 上田秀篤（順不同敬称略）

議 事

1. 局からの報告事項

- ① 京都府内の以下のコミュニティFM放送局3局は今年3月末を目途に、放送を通じて行う地域間交流の連携基盤として協定「コミュニティラジオアライアンス京都」を締結する予定である。この協定は「アライアンス」を通じて連携し、それぞれが有する設備・知的・人的財産を相互に活用し、京都府の地域社会の発展に寄与することを主な目的としている。

- ・ 一般財団法人 有本積善社（FM まいづる）
- ・ 特定非営利活動法人 京都コミュニティ放送（京都三条ラジオカフェ）
- ・ 特定非営利活動法人 コミュニティラジオ京都（Radio Mix Kyoto）

協定締結日には3局を結んだ記念番組の放送を計画中である。

2. 議題

① 番組審議

Bayside Morning Kyoto（2017年2月2日放送）

パーソナリティ：ブルケン

【主な意見】

- ・ コラム的な番組で聴きやすい。原稿を自分で起こしているとのことだが、毎回、自分で考え準備するのはすごい。
- ・ 低音の口調でゆっくりとしゃべるので高齢者にも聴きやすい。
- ・ 節分の話があったが、そこから始めて地域の節分の話にもっていきとさらによい。
- ・ 選曲も面白い。個性としても面白く、どこへ持っていっても恥ずかしくないパーソナリティである。
- ・ 引き出しの多い方なので、ゲスト対談の機会を増やしても面白いだろう。

② 他の番組等に関する意見

- ・ 木/金曜日の朝7時台、8時台、また月/火/水曜日の夕方6時台が録音音楽番組となっており、人の声がきこえないのは寂しい。

→局回答：新パーソナリティを研修・養成中であり、もうしばらく時間をいただきたい。

- ・舞鶴は高齢者が多い。高齢者にとって訳のわからない若者向けの曲が多く、思わずラジオのスイッチを切ってしまうという人をよく聞く。これは聴取者の流失につながる。考慮してもらいたい。
- ・若者が聴かない時間帯に演歌や懐メロなど主体の番組を作るのはどうか。
- ・FM まいづるを流してくれている店舗等を放送で紹介すると、放送を聴く人が増えてくるだろう。
- ・3ヶ月おきに発行している番組表に、過去の対談番組に出演したゲスト名/番組名（放送日）のリストを掲載するとよい。それらの対談は局のホームページに音声ファイルがあるので聴くことができる。番組表で身近な人などが出演しているのが判ると、今後の聴取者層の拡大にも効果があると思われる。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は2017年2月20日から事務所で閲覧できるようにした。
この審議会の議事録は2017年2月20日からホームページで公開した。